

【資料2】



次期上下水道ビジョンの策定に向けて

令和8年8月26日(水)
上下水道部経営財務課



前回の内容を確認しましょう

経営の前提条件が変わってきた

人口減少・水需要の変化など



それでも、私たちは上下水道を次の世代につなぐ

「当たり前」を次の世代へ



次期 上下水道ビジョン

そのために「考え続ける土台」



今回は、いまの計画を振り返ります



「採点」ではなく、次期ビジョンを考える材料として少し振り返ります。



後期財政計画の取組は、どのように進んでいる？

老朽化対策

管路・施設の更新を実施

進捗の見方

事業量・更新実績

水質管理

水質基準を確保

進捗の見方

基準の達成状況

広報・情報発信

出前授業などを実施

進捗の見方

実施件数・参加人数

計画した取組は、それぞれ進めています。



これらを「成果」で考えると...

老朽化対策

管路・施設の更新を実施



どのくらい安心になった？

水質管理

水質基準を確保



安全・安心はどう伝わった？

広報・情報発信

出前授業などを実施



上下水道のことがどのくらい伝わった？

「進捗」と「市民に伝わる成果」は同じだろうか？

※ 進捗管理を否定するのではなく、次期ビジョンでは別な視点も考える必要があるのでは？



では、財政面ではどうでしょう？

経営を見る基本的な数字は、今日は2つ（損益、年度末資金残高）だけ。

	水道事業会計	下水道事業会計
当年度純利益	2 億 2,500 万円	2 億 4,600 万円
（財政計画との差）	（+ 1 億 1,500 万円）	（+ 1 億 4,800 万円）
年度末資金残高	11 億 5,600 万円	8 億 2,400 万円
（財政計画との差）	（+ 5 億 7,100 万円）	（+ 3 億 8,400 万円）

いずれも、後期財政計画を上回りました。

損益：その年度の経営成績（水道、下水道とも利益を生じた）
年度末資金残高：サービスを持続するため確保できた資金の額



では、なぜ計画を上回ったのでしょうか？

損益・年度末資金

計画を上回った



料金収入が増えたから？

料金収入は減少傾向

一方で

費用が計画を下回ったことなどにより、損益・資金は計画を上回った

「計画を上回った」＝「将来も安心」？



次のビジョンでは、何を「成果」として伝えていく？

事業の進捗

計画した取組は進んでいる

財政状況

純利益・資金は計画を上回った



市民から見た「順調」「良くなった」と感じられる成果とは？

何に関心がありますか？ | 何が分かると安心ですか？ | どのように示されれば伝わりますか？

※ 今日、この場面で答えを決めるものではありません。